



空から「福」が舞いおりた！
福山城で日本一早い福まき

日本一早い豆まき
と銘打った福山城の
「福まき」は、今や福
山の正月の風物詩。
4回目の今年も、
福山城あかりまつり
の締めくくりとし
て、4日に開かれた。

書道に昔遊び、初春の風情

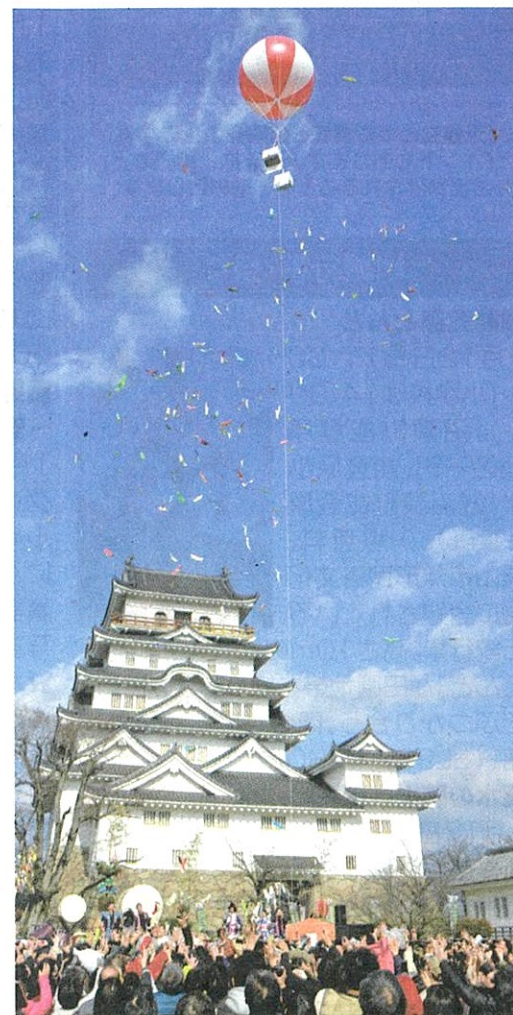


豆を入れる袋を手にした子どもなど約7千人(主催者発表)が天守前に集まった。特設舞台の上から「福は内」と豆が…と思いきや、今年はその前に、空から何かが

前に、空から何かが降ってきた。

バルーンで空高く上がった箱が開くと、中からは豆付きの紙トンボや折り紙ヒコーキが！その数は約400機。

株式会社キヤステムが初の試みとして協力した。しかもその紙ヒコーキには番号が書かれていて、協賛店の商品券や招待チケットなどが当たった。当たりを引いた梶原佑芽美さん（緑丘小6年）は「家族や友達とみんなで楽しく過ごせる年だったらしい。初めて参加して当たりも引けたので、きつ



豆付き、当たり番号付きの紙ヒコーキが舞う

と楽しく過ごせると
思う」と喜んだ。

また、かみしもや
はっぴ、着物姿の主
催者らが舞台から約
1万個の豆をまき、集
まった人たちは福に
向かつて手を広げた。
さらに、会場には、
昔遊びのブースが初
登場。コマ回しやお手
玉、福笑いも人気で、
綿菓子作りには長蛇
の列。何度もけん玉に
チャレンジした大森
歩実さん(緑丘小5
年)は「ふだんと違っ
た遊びができて楽し
い」と満喫していた。



保育所等待機児童の状況

福山市児童部庶務課は先月末、保育所等待機児童数を公表した。毎年4月1日と10月1日時点を取りまとめているもの。	対し、入所児童数は1万3千121人、待機児童数は19人（4月比9人増）。昨年10月1日と比べると2人増、申込者数は約
---	--

3歳児〜5歳児が200人増えている
所得に関係なく保育料が無償化された
10月1日、保育所等
定員は、146施設
1万3千589人に
同課では、低年齢児
のニーズの高まりに
も対応できる受け皿
は確保できているが、
保育士の確保に苦慮

している。対策
ける。対策
き続き、国
成事業等

世界的にも日本的にも今年っぽ
新市町に開運干支とん

毎年、干支と時事を取り入れた斬新なデザインで楽しませてくれる新市町神仁久組(じ)にきゅうぐみ)のほとんど。

のネズミを組み合わせた、世界に通じるといわれる。市松模様は竹製。上下、左右の本数とバランスを調整しながら

今年、デザインを担当する城田貞夫リーダーのもと、ご覧のように、オリンピック（パラリンピック）のエンブレムと干支は、ちよつと寂しそうな親子イノシシの姿

も……。市松
は時代を
字が書か
で確かめ
場所は
線、「宮内

北。神谷
場。21時
アツプさ
しめる。上
日(日)17

昨年、福山夏まつり
豊さんを審査員長に、
やふくのやまよさこ
8人で受賞作を選定

姫の船と
えたもの